



ホタルのふるさと 横浜 瀬上沢

特定非営利活動法人
ホタルのふるさと瀬上沢基金

会報 No.3

2010.9.1

〒234-0054 横浜市港南区港南台 9-30-31
Tel 090-6191-1861 / Fax 045-832-9167
E-mail segamikikin@gmail.com
ホームページ <http://www.segamikikin.org/>
県認証番号：N協第 1083 号
法人登録番号：0200-05-006727

“必ずや生き金にして見せますけん！”

理事長 角田東一

「必ずや生き金にして見せますけん！1,000 両ご助成願えませんか」「生き金？」
「死に金は物と引換に支払うだけの金、生き金は使うた以上のもんが何倍にも何十倍にもなって返ってくる金」。今人気のNHK大河ドラマ“龍馬伝”で、龍馬と福井藩主松平春嶽との会話です。勝海舟が「“勝塾”に幕府から金が出なくなった、越前公の所へ行って金をもらってこい」と命じた時の事です。この金は海軍操練所の人材育成に使われ、今日の日本の繁栄の基が築かれました。

横浜気象台の1月最低気温は1960年代前半に比べ4.5度も上昇しました。このまま自然を破壊していけば、私たちの子供や孫の時代には、地球の温暖化によって食料危機や病気の蔓延など、人類の生存にかかわる重大な弊害が広がると言われています。

瀬上沢基金は、瀬上沢の土地を取得し自然や文化遺産を次世代に引き継いでいく事業を行い、地球温暖化の防止、豊かな生態系や生物多様性の復活を目指します。

皆様のご寄付は、必ずや後世の繁栄をもたらす“生き金”となるでしょう。

「ホタルのふるさと瀬上沢基金 第2回通常総会」6月20日開催 ご報告

正会員のご出席60名（内表決委任12名、書面表決27名）及び賛助会員若干名が揃って、定刻に総会の開催が始まった。

理事長は、今みなさんが基金にかけるお金は将来何十倍何千倍の効果を生むかけがえのないお金ですと述べ、引き続き支援を要請する挨拶を行った。

顧問の新堀豊彦先生は、ドイツのチクセン教授が来日されて、日本の里山の特殊な自然景観、社寺林、水田など、日本の縄文時代以来のたくみな自然利用、自然環境を守る絶妙な仕組みに驚嘆の声を上げられたということ、宮脇昭氏（横浜国大名誉教授・生態学）の話として披露されたり、丹沢の鹿が、減らしても、減らしても増加するという実態などにふれられた。

三浦半島の小網代70ヘクタールが19年もかけて県有地になったように、自然・環境保護の運動は息の長いプロジェクトであることを示唆なさった。限られた時間のご講演であったがもっとお話を伺いたいような内容であった。

総会議事は質疑もきちんといわれた。出席者全員がテーブルを囲んで対面して話をするのでできる議場設定であったので、引き続き交流会も全員発言でなごやかに行われた。来年はもっと多くの正会員、賛助会員のご参加を希望します。そして寄付金拠出者もお招きすることを検討したい。

理事 吉田 厚

横浜栄高校とのコラボレーション2

「夏休み環境活動」

理事 高村 鈴子

8月4日、横浜栄高校の高1生を対象に企画された夏休み環境調査「いたち川支流『瀬上用水』の生物相調査」に参加しました。

最高気温 32.3℃晴。猛暑から解放され、ときどき雲が太陽を隠し涼しい風が吹く気持ちの良い日でした。久保先生と土屋先生、生徒4名、瀬上沢基金6名の計12名の参加で行われました。➔

マシジミ、大きなタニシ、婚姻色が美しいオイカワの3種が新たに記録されましたが、ヤゴ類やアメンボが目立ち、ホトケドジョウやヌマエビなどは、全く確認できませんでした。

自然豊かな地に立地している横浜栄高校の若い世代の方々と共に、このような活動を行うことは大変有意義なことで、これからも継続させていきたいと思いました。



「昔の少年」が、まずは見本を！



高校生達もだんだんと慣れた手つきに



会員から

私

と

瀬

上

沢



イギリスのトラストみたいのが出来たら素晴らしいですね。ますます活動の輪が広がることを願っています。ホテルのシーズンは見に行くつもりです。(港南・A)

いつもお知らせありがとうございます。イベントにもいつか参加させていただきたく思います。これからもよろしくお願いします。(港南・O)

現在逗子に住んでいますので港南台在住の頃のように瀬上沢に足繁くというわけには行きませんが。でも私ども一家にとって瀬上沢は大事な心の財産です。(逗子・T)

川に落ちたら？



川の利用目的の一つに治水がある。

日本の明治以降の治水とは、大地に注がれた水を如何に速く海に注ぐかだ。市街地の川を、ひたすら3面張り（両岸と川底をコンクリートにする）に変え、蛇行をなくし直線化してきた。3面張りの川は、別名、都市下水道というようだ。もしこれに落ちたら登ってくることさえできない。助けがなければ死を待つだけの大変危険な場所になっている。

開発により、峰の森を削り、人が通る所をコンクリートで埋め尽くし、土が姿を消す。雨が降ると、森や土に吸収されない雨水は、道路を覆い、そして全部川に流れ込み、鉄砲水となって海に向かう。都市下水道には、生物が住めない。その基盤となる土がないからだ。

地球上の大気水の大循環は、水によって行われている。蒸発した水分は雨となって降り注ぎ、森を育て多様な生物を

副理事長 寺本 浩

活動させる。都市下水道でない川に流れ込む水は、土中の養分を伴い、川の中に多様な生物の生息を促し、そこから得られた新たな養分を伴い海に流れ込む。海に入った水は海の多数多様な生物の繁栄を支える。これを繰り返す。こうして地球は維持される。身近にある川は、この大循環を真っ向から否定している。

これに対し、近年、生物多様性の維持のため、森林緑地を維持し、川は元の姿に戻すことなど様々なことが要請されている。水田の重要性も認識され、外来生物の排除も行われだしている。これらは、これまでの開発の在り方を大転換するものであり、早急に進められるべきである。

ところで、どの川でも見かける丸々太った鯉は水中の小生物を食いつくすのではなかったか。元来生息していなかったのであるから、外来生物として駆除されるべきと思うのだが。

田口 玲子 (理事 横浜市栄区)

栄区に住んでいますが、緑豊かなこの地域が大好きです。20年以上も前の子育て中には瀬上沢、荒井沢、円海山と、休みの度に歩き回ったものです。この大好きなふるさとを守るために少しでも力になればと、ちょっぴりお手伝いさせて頂いています

吉田 厚 (理事 横浜市港南区)

瀬上沢西の森の草刈り、ごみ出しに夫婦で参加して、よい汗をかいています。来年はシンガポール在住の孫たちに瀬上のホテルを見せたいです

ホテルのふるさと保全のためにご努力に感謝しています。(磯子・T78歳)

東急が縮小しても絶対に自然は守れません。人口減少や不景気でありこのような施設は人集めに大変です。コンクリートから人（自然）のスローガンは今後とも守り続け、次世代の子供達により環境を残してほしいと心から願っております。(港南・K)

瀬上沢には氷取沢の方から入って時折散策しております。美しい自然がいつまでも残ればよいと思っています。(金沢・K)

イベント お知らせ

● 横浜栄高校文化祭

9月25日(土)・26日(日)
基金も参加します

● 『円海山域の昆虫展』

H23年3月29日(火)
～4月4日(月)
会場：りりす「ギャラリー」

● 瀬上沢文化遺産研究会

ガイドツアー&クリーンアップ

それぞれ第二日曜日
横浜栄高校正門前集合
午前10時～

次回は

ガイドツアー 9/12
クリーンアップ 10/10

● 落語 と JAZZ

地元の落語家 立川らく次
コラボレーション!!
つちむら音楽工房

9月6日(月) 午後2時～
¥1800：ご予約ください
予約先：045-831-5127
会場：CoZAの間(港南台)



会員・寄付の状況

(平成22年8月末現在)

個人正会員 67名
法人正会員 1名
個人賛助会員 101名
法人賛助会員 2名
JF会員 6名
寄付者 延べ 636名
寄付金額累計 270万円



会員の方からのご要望

Q:「振り込みする者の便宜のために銀行振込もぜひ可能にして下さい」とのご要望がありました。

A:お手数をかけていたのですね。申し訳ございませんでした。
郵便振替口座へゆうちょ銀行以外の銀行からもお振込できる
ようになりましたのでお知らせいたします。

振込は、ゆうちょ銀行

〇二九(ゼロニキュウ)店 当座0097531



瀬上沢基金のステッカー決まる

『瀬上沢ステッカーキャンペーン』は、多くの方に瀬上沢を知って頂くために、市民への呼びかけツールとして、パタゴニア日本支社が瀬上沢緑地のステッカーデザインを作成し、活動団体が販売するというものです。

作成された3つの案を来店されたお客様に種類選んでいただくという『ステッカー投票』が、6月19日～7月19日まで、横浜・ベイサイド・鎌倉の3店で行われ、右上➤に示されているものが選ばれました。

ステッカーとして皆様にお求めできるようになるのには、もう少しお待ち下さい。



編集後記

地球温暖化なのか？今年の夏は各地で猛暑日が続きました。10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)も開催されます。様々な生き物が暮らす地球。今一度、日々の暮らしを持続可能な社会に向けて見直していきたいものです。 M.F.

